KYOCERA Connector Products Corporation

SPEC NUMBER : **205-03-216**

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

Series 8071,8072

2.0mm Pitch Multi Line Module Connector

A	DCN-417	4/10 '14	M.Yoshida		T.Mori
O	EDN-575	4/26 '05	M.Yoshida	Y.Shiroyama	N.Hayashi
NO	EDN／DCN	DATE	PREPARED	CHECK	APPROVED

目　次
TABLE OF CONTENTS

1. 概要 ····· 2

2. 対象製品 ····· 2

3. 取り扱い上の注意 ····· 2

3.1 許容嵌合ずれ量について ····· 2

3.2 部品実装禁止エリアについて ····· 3

3.3 プレスフィット時の推奨圧入力について ····· 3

3.4 許容浮き量について ····· 3

3.5 リペアについて ····· 4

1. 概要

8071,8072 シリーズコネクタの取り扱い上の注意点について記載します。

2. 対象製品

○プラグコネクタ

P／N ： 17 8071 154 XXX XXX （A タイプ）　　17 8072 XXX XXX XXX X
17 8071 175 XXX XXX （B タイプ）
17 8071 077 XXX XXX （C タイプ）
17 8071 077 XXX XXX D （CR タイプ）

○リセコネクタ

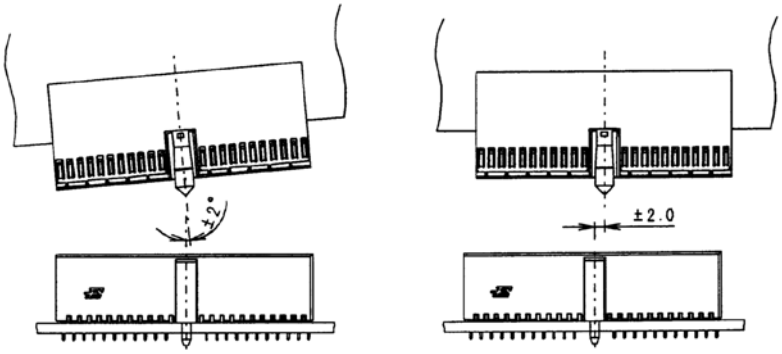
P／N ： 27 8071 110 012 XXX S （A タイプ）　　27 8072 XXX XXX XXX X
27 8071 125 010 XXX （B タイプ）
27 8071 055 012 XXX （C タイプ）
27 8071 055 012 XXX D （CR タイプ）

3. 取り扱い上の注意

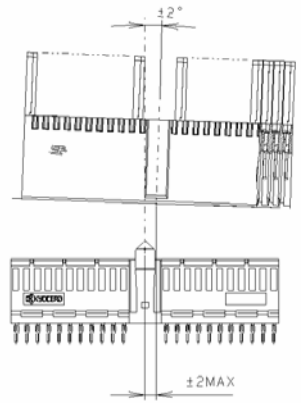
3.1 許容嵌合ずれ量について

嵌合時におけるコネクタの許容嵌合ずれ量は、下記のとおりです。

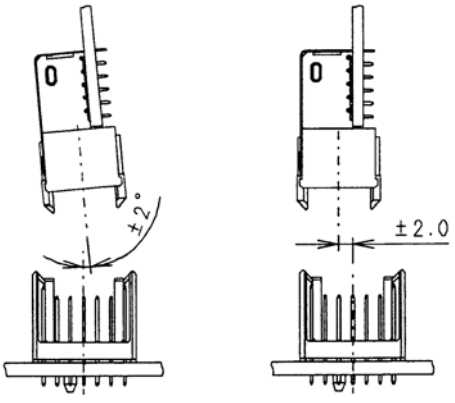
※ A, AB Type 使用時



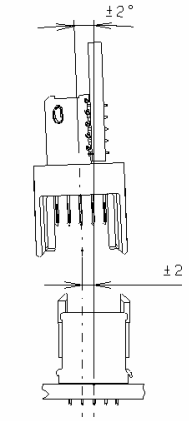
横方向許容嵌合ずれ量 （Series 8071）



横方向許容嵌合ずれ量 （Series 8072）



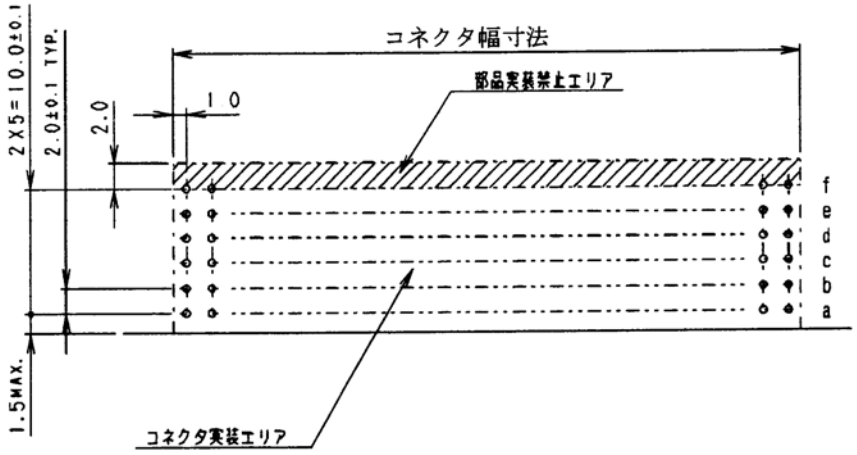
縦方向許容嵌合ずれ量 （Series 8071）



縦方向許容嵌合ずれ量 （Series 8072）

3.2 部品実装禁止エリアについて

リセコネクタのプレスフィット時に、基板内に内部応力が発生し、実装済みの部品で半田クラックが発生する恐れがあるため、下図の斜線部には部品を実装しないようにしてください。



3.3 プレスフィット時の推奨圧入力について

プラグコネクタおよびリセコネクタのプレスフィット時の推奨圧入力は下記のとおりとなっています。インシュレータに潰れ，破損等が発生する恐れがあるため、推奨圧入力以上の荷重は加えないでください。 また、推奨圧入力以上の荷重を加える場合は、必ず下死点ストッパーを設置してください。

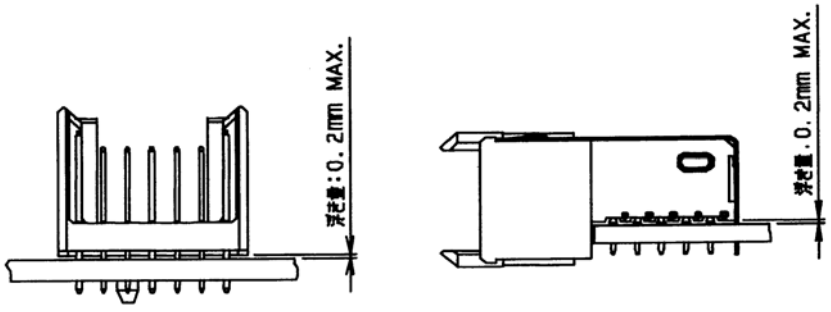
RA 単体での圧入時には、倒れ防止の囲い形状をご検討下さい。

	55P （77P）	110P （154P）	125P （175P）
プラグ	550kgf	1100kgf	1250kgf
リセ	300kgf	600kgf	680kgf

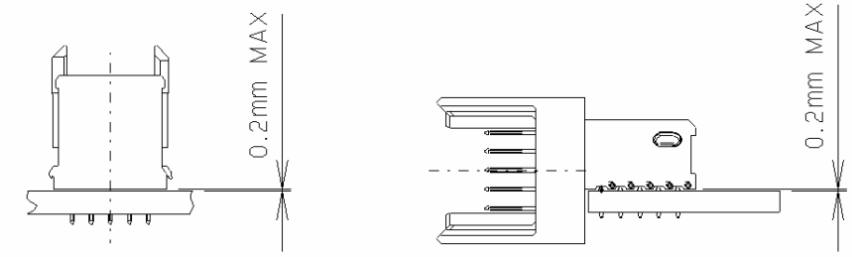
3.4 許容浮き量について

プレスフィット時におけるコネクタの許容浮き量は、プラグ・リセともに、基板から 0.2mm までとします。

Series 8071



Series 8072



3.5 リペアについて

基板のリペアは 2 回までにしてください。 なお、基板から取り外したコネクタは再び使用することはできません。 新品のコネクタと交換のうえ、再度圧入を行ってください。